

# 新たな戦略の策定における論点

内閣府知的財産戦略推進事務局

2019年6月11日



Japan. Cool Japan.

# 第1回Create Japan WGにおける主な意見①

① クールジャパンの目的とともに、日本人にどう裨益するのか明確にする必要。

② クールジャパンの効果を測る指標がない。  
クールジャパンの効果を定量的に分析する必要。

③ 関係者をうまくネットワーク化させることは重要。中核組織が政府の横にあるのは良いと思う。

④ British Councilのような機関が日本にもあるといい。UKと東京のコミュニティをつなげてくれて、ありがたい。例えば、ジャパンハウスにそのような機能を持たせられないか。

## 第1回Create Japan WGにおける主な意見②

⑤ 日本ファンの外国人を増やすことは大切だが、日本社会としてどのように外国人を位置付けていくのか明確にする必要。

⑥ 外国人が、日本に住むうえで慣習や手続きなどの課題がある。

⑦ 入口のプロモーションばかりで、深みに欠け、「二次元の日本」になっている。

⑧ ポップカルチャーやオタクは訴求対象の幅が広いので、特に入口として、効果的に使うべき。

## (参考) 第5回アドバイザリーボードにおける主な意見①

- ・ 本年5月、クールジャパン官民連携プラットフォーム(平成27年設立)のアドバイザリーボード16名と意見交換を実施。

### ○ 外国人の視点

- ・ 日本と外国とではクールと思うものが違う。
- ・ 日本人があえてフォーカスしなくても、外国人が勝手にピックアップしてくれているものもある。
- ・ 海外で日本ファンが集まるイベントが全然活用できていない。

### ○ ネットワークについて

- ・ 役所側に継続性を求めても無理なので、外側で継続性を維持するしかない。
- ・ 中核組織については、文化・伝統の司令塔となっていただくことも期待。
- ・ 儲けにつながらないとインセンティブがないので、実利も考えないといけない。
- ・ ブリティッシュカウンシルのイメージを持っている。できればオンライン上で実現できたら良い。オンライン上で提供するジャパンカウンシルは見てみたい。
- ・ マーケティング情報など、データベースの機能もあるといい。
- ・ このネットワークも集まるきっかけや声掛けは政府にやってほしい。政府の呼びかけだと集まる。

## (参考) 第5回アドバイザーボードにおける主な意見②

### ○ 日本ファンシステムについて

- ・ ロイヤルカレッジオブアートでは、昨年からポケモンが出資して奨学金制度を設立。学内でのポケモンの知名度が上がり、日本滞在を通じて学生は日本が大好きになる。
- ・ 英国で行われていたポストスタディビザは良い制度だった。年間1万人の学生を確保できれば、日本ファンも増える。
- ・ 日本ファンの人に働いてもらい、帰国の際に日本企業も一緒に連れて行ってもらうことも重要。

### ○ その他

- ・ 韓国に行った際、同行した人が「韓国に行くときには必ずチェックするサイト」を紹介してくれた。そのような入門サイトのようなものが日本に存在するのか疑問
- ・ 個人の取組や小さな地方案件がなかなか取り上げられない。表彰や検定があればいいと思う。
- ・ インバウンドは、富裕層向けのサービスが弱いので、充実させるべき。
- ・ ファッション、食、自然など、テーマごとにインフルエンサーを分けた方が良い。

# (参考) EUREKA(ユーリカ)！懇談会における主な意見①

- 「EUREKA(ユーリカ)！懇談会- Amigos de Japon -」を立ち上げ、本年3月～5月に計4回開催。
- 多様な外国人有識者の方々と意見交換を実施（アメリカ、イギリス、カナダ、オーストラリア、ペルー、タイ、トルコ、イタリア、ドイツ、フランス、モロッコの合計19人）。

## ○ 外国人の視点

- ・ 海外に展開するには、外国人の知見をより使うべき
- ・ Coolか否かは日本人ではなく外国人が決めること
- ・ 日本が語るストーリーは、知識を有する外国人のレベルに追いついていない
- ・ 外国人と日本人がクールジャパンを一緒に取り組むことが重要

## ○ 地方の魅力

- ・ 田舎やそこに住む人々は素晴らしい
- ・ 日本に住むこと自体がCool（田舎の高い生活水準とか）
- ・ ゴールデンルートだけではなく、地方の観光もより活性化させるべき



第1回



第2回

## (参考) EUREKA(ユーリカ)！懇談会における主な意見②

### ○ 情報の発信

- ・ オンラインを含めたメッセージがとても下手である
- ・ いい情報はあるのだが、それを強くアピールすることについて、特に田舎や地元でためらい（抵抗）がある
- ・ 外国人の多くが日本に関心がない中で上手に発信する必要
- ・ 日本の発信に問題がある、特に世界が日本に対して詳しくなっている中で、表面的かつ「自分たちの方がすごい」という視点での説明が多い

### ○ その他

- ・ 人口が減少していく中で地域の文化（町内会や祭り）が消えることを憂いており、それらを維持するため、将来を見据えた取組をするべき
- ・ 日本への親近感が増すようなプログラムが重要
- ・ 外国人の活躍を困難にしている日本の制度や慣習がある



第3回



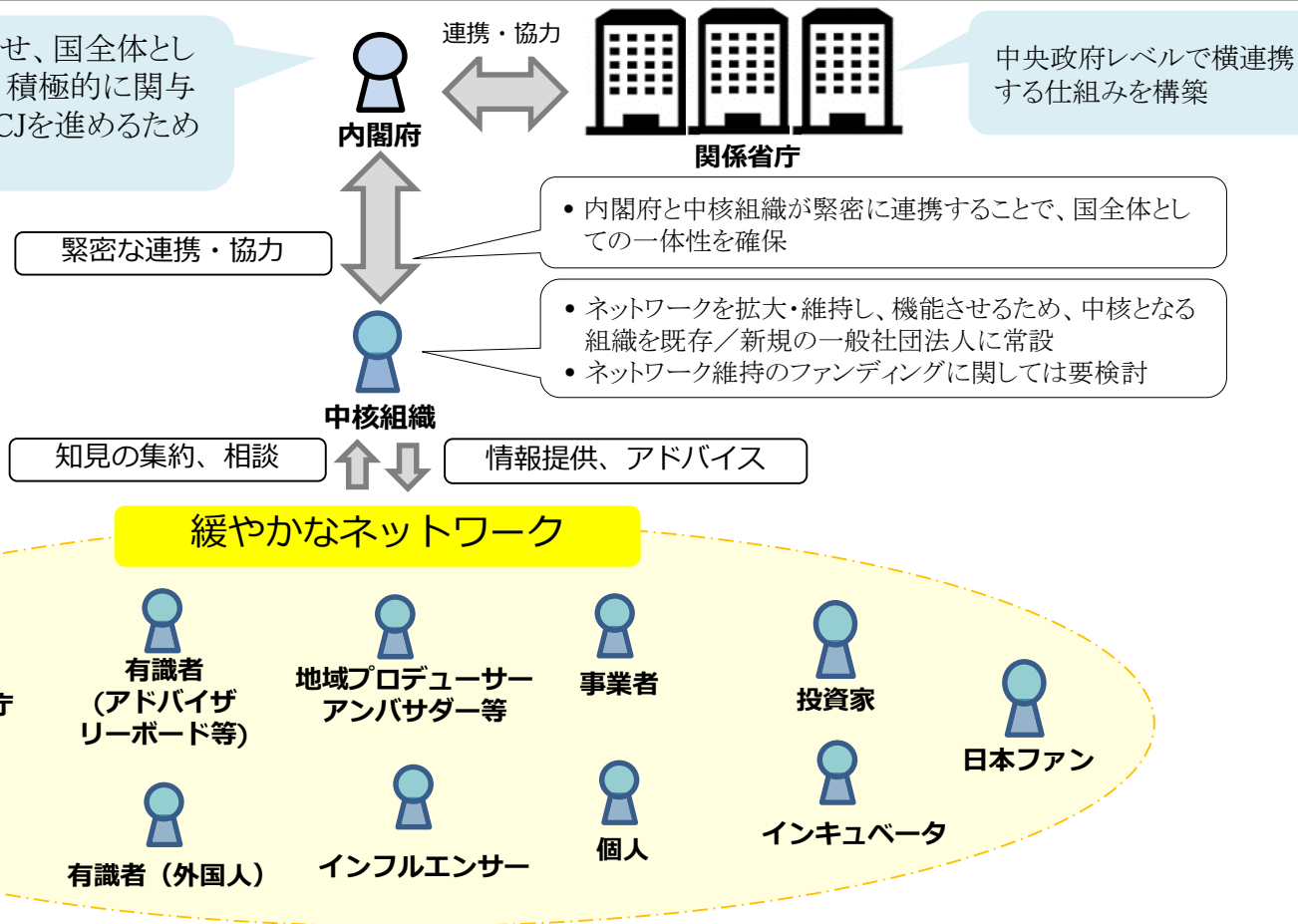
第4回

# 横の連携を強化するための仕組み（一例）

- CJを持続的に実施するため、関係者間の横連携を強化する仕組みを構築し、中長期的には自走させる
- まずは小規模な仕組みを作り、中長期的に拡大していくことが現実的

- CJ戦略の基本的考え方を浸透させ、国全体として一貫した取組を確保するため、積極的に関与
- 仕組みを機能させることを含め、CJを進めるための環境整備

＜目指す姿＞  
ネットワーク内で情報共有がなされ、自然発生的にメンバー同士が繋がることで、CJの取組がより良く進むような環境。



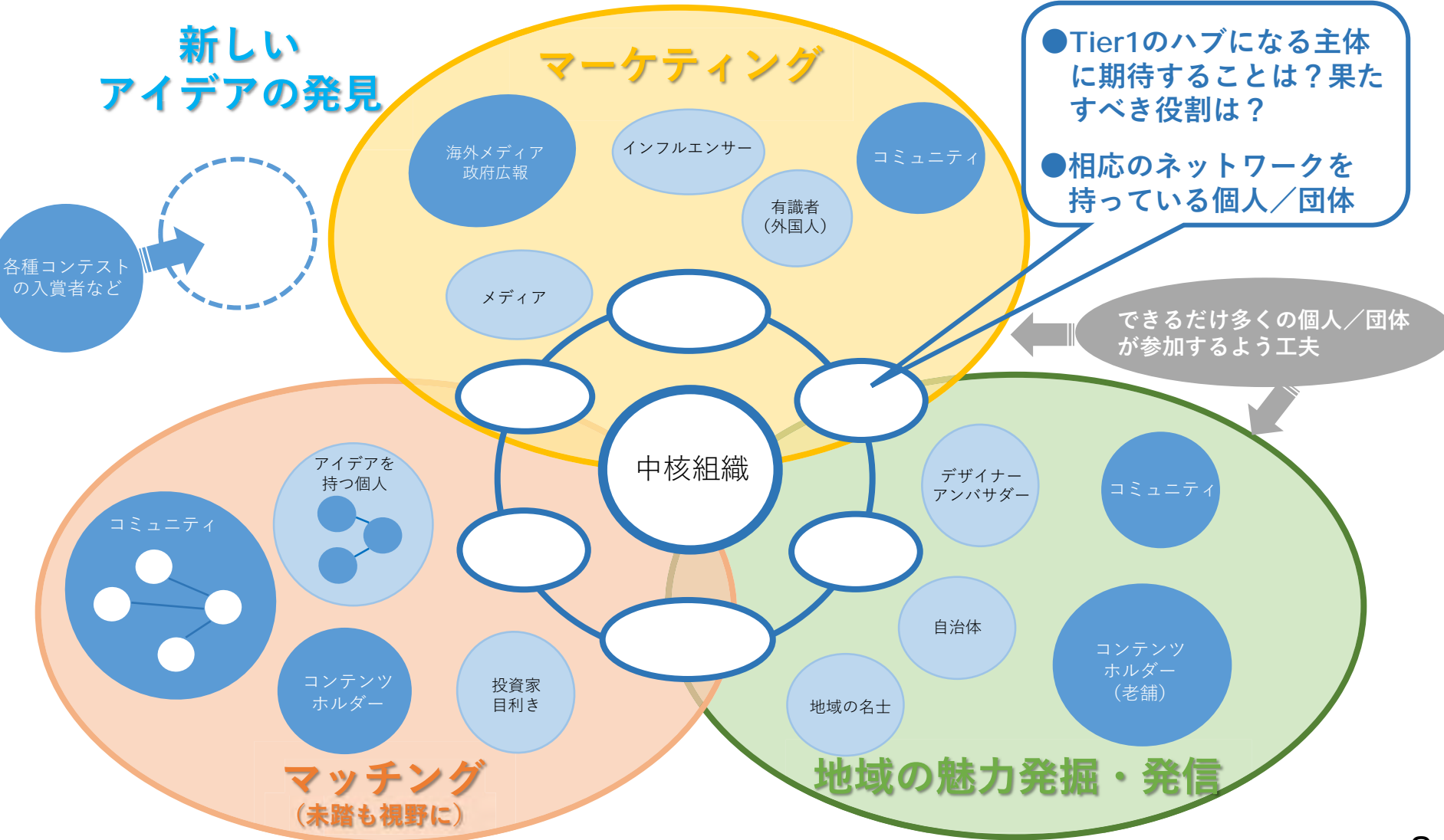
## 【 ネットワークで取組む事項（イメージ） 】

- 知見の蓄積及び共有
- アイデアの発掘、創出、育成
- 人材の発掘、マッチング
- 事業の発信・展開
- 評価・分析・検証



# 横の連携を強化するための仕組み（案）

中核組織とハブになる主体を中心に、アジェンダごとにネットワークを構築し、連携させながら拡大する。



# ネットワークを維持する仕組み（案）

ネットワークの質を維持し、求心力を確保するため、メンバー（団体・個人）の階層化が必要

## メリット

各階層に応じたメリットの付与を検討

(例)

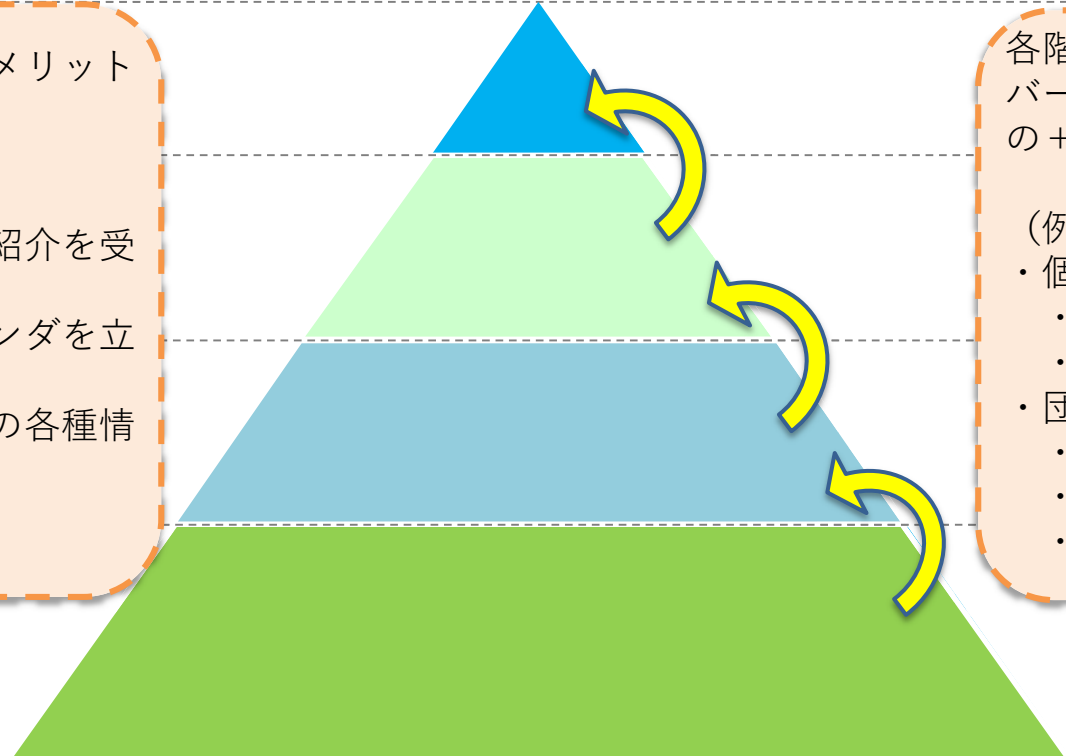
- ・優先的に人材紹介を受けられる
- ・新しいアジェンダを立てられる
- ・中核組織からの各種情報提供

## 要件

各階層の要件と、メンバーが階層を上げるための +  $\alpha$  の要件を検討

(例)

- ・個人
  - ・能力
  - ・ネットワークの広さ
- ・団体
  - ・能力
  - ・ネットワークの広さ
  - ・貢献度



# 意見交換を踏まえた、ネットワークに関する論点

論点1 ネットワークの役割とは

論点2 中核組織の役割とは

論点3 ファンディングの方法とは

論点4 質の確保のためにはどのような仕組みが必要か

論点5 具体的にどのようにネットワークを作るのか

論点6 省庁間の横連携の仕組み

# 意見交換を踏まえた、日本ファンに関する論点①

- 外国人の関心を踏まえ、双方向のコミュニケーションを通じ、「日本」に関する知識・関心を深め、「日本」に愛情を持つ日本ファンを増やす。日本ファンにはクールジャパンの取組にも積極的に関与いただき、更なる日本ファンの増加に結び付ける。

## 【日本ファン】

- ・ 「日本」に対する愛情や好感がある
- ・ 「日本」に関する深い知識や問題意識がある
- ・ 「日本」に関して愛情をもって、自発的に発信

### 「C」の取組に積極的に関与してもらう

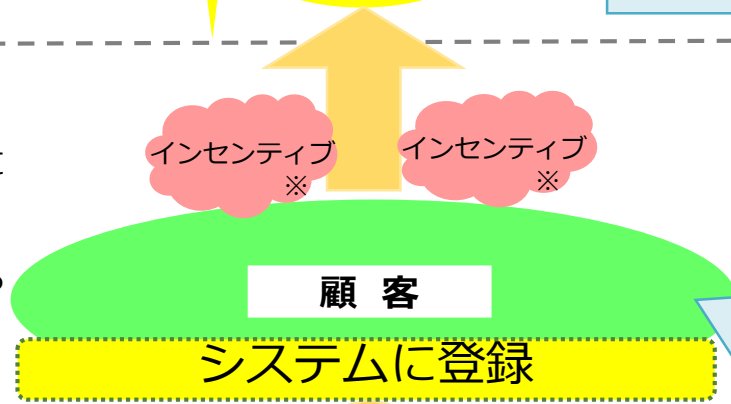
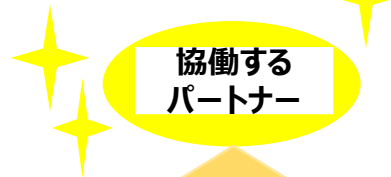
- ・ 関心に沿った情報を中心に深い情報を提供し、「日本」への愛情を深める
- ・ ネットワークにおける、資源の発掘や海外への発信など「日本市民」として活躍してもらう

## 【日本に一定の関心がある層】

- ・ 「日本」に対する関心があり、積極的に情報収集をするつもりもある
- ・ 訪日希望又は経験がある
- ・ 関心や好感の度合に大きな個人差がある

### 「日本ファンになってもらう」

- ・ 関心のある分野の情報を提供し、関心分野に触れる機会を増やすことで、「日本」に関する関心や知識を深める
- ・ 共感を得て、「日本」に関する好意を醸成する
- ・ 一方的な情報発信から双方向のコミュニケーションに移行することが重要



顧客

システムに登録

【無関心層（大多数）】

潜在的な顧客

- ・ 「日本」に対して関心がなく、積極的に情報収集をするつもりはない
- ・ 「日本」に対して悪い感情を抱いていない人が多い
- ・ 訪日希望又は経験はない

### 「日本に対する関心を持ってもらう」

- ・ 情報を様々な手段で発信することで、「日本」に対する関心を持ってもらう
- ・ よく使うメディア、関心を持ちやすいコンテンツを意識してできるだけ多くの人に情報を届ける

※ 日本ファンになってもらい、日本ファンであり続けてもらうためのメリット措置。

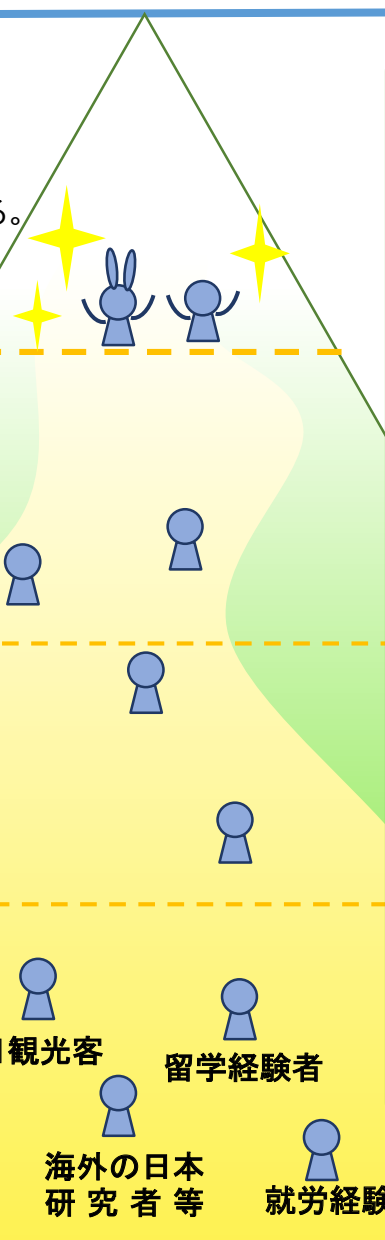
# 意見交換を踏まえた、日本ファンに関する論点②

## 日本ファン（協働するパートナー）

- ・「日本」に対する愛情や好感がある。
- ・「日本」に対する深い知識や問題意識がある。
- ・前述のネットワークの中心を担う人材。

## 関心を持っている層

- ・特定の分野に対する強い関心や深い知識があり、発信する意欲もある。
- ・特定の分野に対する強い関心や知識がある。
- ・興味分野について積極的に情報収集する。
- ・特定の地域に関心を持っている。
- ・関心はあるが、分野や地域を特定するに至っていない。



イベント参加者

海外の日本研究者等

就労経験者

訪日観光客

留学経験者

システムに登録

### <登録情報>

基礎的な情報の登録をファーストステップとし、詳しい情報を登録することでステップアップ。その段階に応じて、メリット措置が受けられる。

(イメージ)

4th Step

過去の渡航・滞在履歴等

↑ 3rd Step

パスポート番号等

↑ 2nd Step

関心のある分野、地域等の事項等

↑ First Step

メールアドレス、出身国等最小限度の情報

### <メリット措置>

訪日回数、フォロー数、発信数(定量的)、CJを含む日本への貢献度(定性的)等に応じて、例えば、以下の通り段階的に提供。

(イメージ)

4th Step

更なるメリット措置

↑ 3rd Step

空港におけるサービスの提供

↑ 2nd Step

特定の地域や分野に関する情報や特別サービスの紹介

↑ First Step

地方に関する情報や既存のサービスの紹介

# 意見交換を踏まえた、日本ファンに関する論点

論点1 登録は、何を、どんな手段で、どのような機会に、誰に対して行うのか

論点2 登録されたデータをどのように管理するのか

論点3 システムはどのように作るのか  
(新規 or 既存、官 or 民 など)

論点4 メリット措置とはどのようなものか